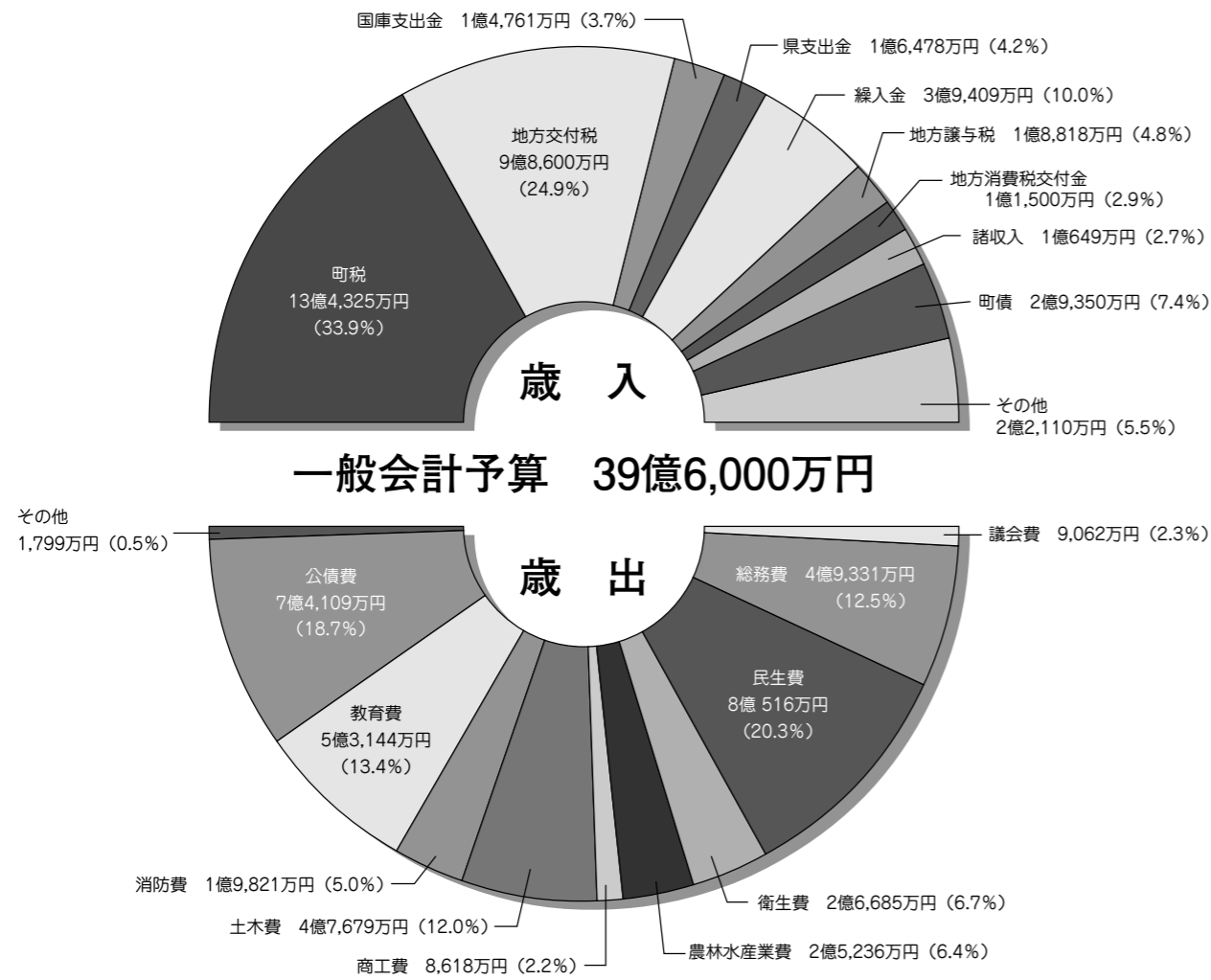


## 一般会計予算 39億6,000万円の内訳



# 平成18年度 当初予算が決まりました 77億1,103万円(一般会計・特別会計)

平成18年度の鏡石町当初予算が3月定例議会において議決されました。議決された一般会計と特別会計の予算総額は、77億1,103万円で前年度比1億423万円(1.3%)の減となりました。



鏡石町長 木 賊 政 雄

### 平成18年度 予算編成にあたって

平成18年度の予算編成にあたっては、5年目となる第4次総合計画の基本理念である「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」「元気づくり」「活力づくり」「人づくり」「地域づくり」の5つの柱を軸に、各種事業の重点的・効果的な配分に努め、一般会計予算の総額では、39億6,000万円と前年度比0.5%の減額予算となりました。

この予算編成の背景には、平成17年度末の国と地方の長期債務残高が、774兆円を越すことが予想されているため、国は、「快速空間づくり」「元気づくり」「活力づくり」「人づくり」「地域づくり」の5つの柱を軸に、各種事業の重点的・効果的な配分に努め、一般会計予算の総額では、39億6,000万円と前年度比0.5%の減額予算となりました。

地方の権限と責任を大幅に拡大するという方針のもと、国庫補助金の削減、地方交付税の制度見直し、国から地方への税源移譲を含む税源配分の在り方を三位一体改革によって、国主導で進めており地方財政は大変厳しい状況にあります。

一方、歳出面においては、行政改革実施計画により、徹底した事務事業の見直しをはじめ、第4次総合計画の確実かつ着実な推進を図るべく配慮したところであります。

また、時代の要請である電子自治体の形成については、平成14年度に整備した地域イントラネットを活用したIT新時代にふさわしい新たな視点に立ったまちづくりを進めるための予算措置を行ったところであり、町民が幸せを実感できるまちづくりを着実に進めたいと思います。

### 町の予算のしくみ

町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分けられます。その内、一般会計は、町行政運営の基本的な経費を計上している会計。福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかっています。

特別会計は、一般会計と切離して、独立した経理で行う会計のことで、町では、老人保健特別会計など9つの会計が設置されています。

企業会計は、水道事業など、その事業で得られる収入で経費をまかっていく、独立採算を原則とした会計のことです。

### 各会計当初予算

会計区分	本年度	前年度	比較	増減率(%)	
一般会計	39億6,000万円	39億8,000万円	△ 2,000万円	△ 0.5	
国民健康保険特別会計	11億3,341万円	11億4,098万円	△ 757万円	△ 0.7	
老人保健特別会計	10億1,758万円	10億2,713万円	△ 955万円	△ 0.9	
介護保険特別会計	5億6,609万円	4億3,300万円	1億3,309万円	30.7	
土地取得事業特別会計	5,553万円	5,747万円	△ 194万円	△ 3.4	
工業団地事業特別会計	5,511万円	2億6,391万円	△ 2億880万円	△ 79.1	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2,681万円	1,300万円	1,381万円	106.3	
公共下水道事業特別会計	4億8,100万円	4億7,200万円	900万円	1.9	
農業集落排水事業特別会計	6,500万円	6,300万円	200万円	3.2	
育英資金貸付費特別会計	1,308万円	1,188万円	120万円	10.1	
小計	73億7,361万円	74億6,237万円	△ 8,876万円	△ 1.2	
上水道事業会計	収益的	2億2,741万円	2億2,684万円	57万円	0.3
	資本的	1億1,001万円	1億2,605万円	△ 1,604万円	△ 12.7
	計	3億3,742万円	3億5,289万円	△ 1,547万円	△ 4.4
合計	77億1,103万円	78億1,526万円	△ 1億423万円	△ 1.3	